

氏名	大塚 齊	部署	社会福祉子ども学科	職名	教授
研究分野	児童福祉 社会的養護 家族支援				
学位	修士（心理学）				
学歴	2001年3月信州大学人文科学部人間情報学科卒業（文学士） 2004年3月東京都立大学人文科学研究科前期課程修了（心理学修士） 2010年3月東京都立大学人文科学研究科後期課程満期単位取得退学				
経歴	2003年5月より社会福祉法人武蔵野会武蔵野児童学園心理療法担当職員（非常勤） 2010年4月より同施設、治療指導担当職員（常勤） 2016年4月同法人主任 2023年4月埼玉県立大学社会福祉子ども学科教授				
所属学会（役職）	日本心理臨床学会（広報委員） 日本子ども虐待防止学会 日本家族心理学会 日本家族療法学会 日本遊戯療法学会（編集委員）				

【2024年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	児童福祉施設職員の育ちの語り	共著	なし		子どもの虹情報研修センター2023年（令和5年）度研究報告書 8-9、16-19、23-28	増沢高・内海新祐・大塚齊
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	大会企画シンポジウム「関係性へのアプローチを臨床実践に活かす」シンポジスト「児童福祉領域」	単独	日本心理療法統合学会第5回大会		企画司会：野末武義 シンポジスト：大山寧々 ○大塚齊 佐藤大海 指定討論：金沢吉展	2025年3月
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	書評「刑務所の精神科医（野村俊明著）」	単著	遊戯療法学研究Vol.23.No.1 p117-118		○大塚齊	2024年8月
2	声をあげることが、クレームにならない社会へヘルギー視察を通して	単著	公益財団法人資生堂子ども財団Webマガジン		○大塚齊	2024年11月
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	人間関係とコミュニケーション	○	15	1年生中心に全学科の学生が広く履修しているため、広く対人援助職に役立つシステムやコミュニケーションについて、グループワークや実際の面接ビデオ等を用いながら、体験的に学ぶ機会を提供した		
2	臨床心理学	○	15	臨床心理学の基礎知識、多領域で共通して利用可能なエッセンスを中心に学ぶ機会とした		
3	院 健康支援カウンセリング論	○	15	大学院科目にて、多領域で活かせる臨床心理学的視点を提供する。仕事しながらの方も多いため、夜の時間帯でオンラインを入れながら実施。		
4	院 子ども若者支援論		2コマ	オムニバス形式の2コマを担当。看護や養護教諭等、今度虐待問題とかかわる可能性のある院生もあるので、広く社会的養護の子どもたちの状況が伝わるようにした。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	ソーシャルワーク特論Ⅳ	○	15	家族支援の基礎理論、基礎技術をロールプレイを撮影して、振り返り学ぶ等、実践的な学びを深めた
2	ソーシャルワーク演習Ⅰ		15	1年生にソーシャルワークの基礎に関する体験的な学びをサポートした
3	社会福祉専門演習Ⅰ		15	3年次ゼミにて、精神発達病理学について学んだ
4	社会福祉専門演習Ⅱ		15	3年生ゼミにて、卒業研究の基礎について学んだ
5	社会福祉専門演習Ⅲ		15	4年生ゼミにて、卒論の指導を行った
6	社会福祉専門演習Ⅳ		15	4年生ゼミにて、卒論指導と国家試験対策を行った
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		学内:15コマ 学外実習:2月～3月	初めてのソーシャルワーク現場実習の準備として、事前の学び、準備、実習訪問等で担当グループの学生に指導した。
2	ヒューマンケア体験実習		学内実習：8月2日オリエンテーション 学外実習：9月23日～27日	1年次、初めての対人援助現場への実習、多分野連携の実習指導を行った
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4～2025.3	主指導 3名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	埼玉家庭裁判所 少年友の会 学生ボランティア顧問	2023年4月～現在	家庭裁判所にかかる少年への埼玉県立大学生ボランティアの顧問	
2	白梅学園大学	2024年10月	保育士養成課程でのオンラインによるゲストスピーク	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県児童福祉司任用後研修	埼玉県子ども安全課	児童相談所児童福祉司を対象とした研修「非行」	2024年10月
2	埼玉県要保護児童対策調整機関の調整担当者研修 (児童福祉司任用前講習会)	埼玉県子ども安全課	要対協の担当者に向けた研修「子どもの成長・発達と成育環境」「子どもの生活に関する諸問題」	2025年1月
3	千葉県児童福祉専門職員研修第4回スキルアップ研修 (児童心理司)	千葉県児童家庭課	児童相談所児童心理司を対象に、家族システムの見立てと支援についての研修	2024年7月 2024年8月
4	初任職員フォローアップ研修	千葉県児童福祉施設協議会	県下の児童福祉施設新任職員を対象とした「アセスメント」「事例検討の意義」についての研修	2024年11月
5	春日部保健所引きこもり専門相談	春日部保健所	春日部保健所にて事例検討SV	年6回
6	社会福祉法人武蔵野会 職員研修	社会福祉法人武蔵野会	武蔵野児童学園新任研修・中堅研修「アセスメント」	2024年5月 2025年2月
7	社会福祉法人晴香 事例検討講師	社会福祉法人晴香	児童家庭支援センターオリーブ 事例検討講師 年5回	2024年6月～ 2025年2月
8	社会福祉法人ベタニヤホーム 事例検討講師	社会福祉法人ベタニヤホーム	児童家庭支援センターこうのだい 事例検討講師 年2回	2024年5月 2025年1月

9	家族相談士養成講座	日本家族カウンセリング協会	2024年度家族相談士養成講座「家族アセスメントの技法と実習」	2024年7月
10	埼玉未来大学	公益財団法人いきいき埼玉	心をつなぐコミュニケーション	2024年5月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	埼玉県福祉人材センター	運営 副会長		2023年4月～現在
2	越谷市福祉保健オンブズパーソン	福祉保健オンブズパーソン		2024年12月～ 2026年11月
3	越谷市自殺対策連絡協議会	会長		2024年10月1日～ 2026年9月30日
4	日本心理臨床学会	広報誌編集委員会 委員		2024年6月～ 2026年6月
5	日本遊戯療法学会	編集委員		2023年7月～ 2025年6月
6	東京都公認心理師協会	福祉領域世話人		2024年4月～ 2025年3月
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会 委員		2024年4月～ 2025年3月
2	全学的委員会及びセンター業務等	研究倫理委員（動物実験）		2024年4月～ 2025年3月
3	全学的委員会及びセンター業務等	教員人事委員会（不服申し立てに係る）委員		2024年4月～ 2025年3月
4	学科等における委員会等	基盤科目担当者会		2024年4月～ 2025年3月
5	学科等における委員会等	カリキュラム検討WG		2024年4月～ 2025年3月
6	学生支援	2学年学年担任		2024年4月～ 2025年3月
7	大学広報活動	オープンキャンパスでの模擬授業 社会福祉学専攻		2024年8月
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
受賞名			主催	受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
特許名			特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			